

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第7部門第3区分

【発行日】平成28年8月25日(2016.8.25)

【公表番号】特表2014-531179(P2014-531179A)

【公表日】平成26年11月20日(2014.11.20)

【年通号数】公開・登録公報2014-064

【出願番号】特願2014-538989(P2014-538989)

【国際特許分類】

H 04 L 12/859 (2013.01)

H 04 L 12/911 (2013.01)

【F I】

H 04 L 12/859

H 04 L 12/911

【誤訳訂正書】

【提出日】平成28年7月5日(2016.7.5)

【誤訳訂正1】

【訂正対象書類名】特許請求の範囲

【訂正対象項目名】請求項1

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【請求項1】

集中型のトラフィックマネージメントサーバーが少なくとも一つのクライアントノードによって送信される着信パケットのサンプルを連続的にモニターするように、前記トラフィックマネージメントサーバーを使用してネットワーク経由でデータトラフィックをモニターすることと、

前記トラフィックマネージメントサーバーが着信パケットの前記サンプルの頻度、変化率およびコンテンツに基づいて負荷情報を演算するように、ネットワーク負荷を予測することと、

前記トラフィックマネージメントサーバーと前記少なくとも一つのクライアントノードとがデータパケットの今後の送信用にスケジュールされた時間を決定するメッセージを交換するように、ネットワークトラフィックをスケジューリングすることと、

前記少なくとも一つのクライアントノードが前記スケジュールされた時間に前記ネットワーク経由で前記データパケットを送信するように、データを送信することと、

を含むコミュニケーションネットワークの帯域幅を調整する方法。

【誤訳訂正2】

【訂正対象書類名】特許請求の範囲

【訂正対象項目名】請求項24

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【請求項24】

ネットワークと、

少なくとも一つのクライアントノードと、

集中型のトラフィックマネージメントサーバーと、

を含み、

前記トラフィックマネージメントサーバーは、

前記トラフィックマネージメントサーバーが前記少なくとも一つのクライアントノードによって送信される着信パケットのサンプルを連続的にモニターするように、前記ネットワーク経由でデータトラフィックをモニターし、

前記トラフィックマネージメントサーバーが着信パケットの前記サンプルの頻度、変化率およびコンテンツに基づいて負荷情報を演算するように、ネットワーク負荷を予測し、

前記トラフィックマネージメントサーバーと前記少なくとも一つのクライアントノードとがデータパケットの今後の送信用にスケジュールされた時間を決定するメッセージを交換するように、ネットワークトラフィックをスケジューリングする、

ように構成されている、

コミュニケーションネットワークの帯域幅を調整するシステム。